

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成24年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	五日市ファインプラザ	指定管理者	シンコースポーツ・山武・東京体育機器共同事業体
指定期間	平成21年4月1日から 平成26年3月31日まで	担当課	スポーツ推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（Ａ）	実績（Ｂ） （モニタリング時）	対計画比率 （Ｂ／Ａ×１００）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		306	157	51.3%
	延べ利用者数（人）		150,000	83,453	55.6%
	事業開催 回数	必須事業（回）	114	62	54.4%
		自主事業（回）	850	445	52.4%
収支状況	収入	指定管理料（円）	97,335,788	48,667,890	50.0%
		使用料収入(売上)（円）	21,473,634	10,603,750	49.4%
		自主事業収入（円）	5,034,900	6,247,622	124.1%
		その他の収入（円）	0	4,097	—
	収入計（円）		123,844,322	65,523,359	52.9%
	支出	人件費（円）	19,382,652	10,403,584	53.7%
		維持管理経費（円）	99,426,770	46,564,408	46.8%
		自主事業関係経費（円）	4,855,100	3,102,614	63.9%
		その他の支出（円）	0	0	—
	支出計（円）		123,664,522	60,070,606	48.6%
	収支（収入－支出）（円）		179,800	5,452,753	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 ○開館日数に関して 臨時休館等なく予定通りの開館日数となりました。 ○利用者数に関して 個人利用者数は 45,616 人 団体利用者数は 37,837 人 となりました。 団体利用のお客様を増加させる事が課題としてあげられます。	【事業の実施状況について】 ○必須事業として親子自由開放、アクアビクス、障がい者水泳教室を計画通り実施しました。今年度は昨年度よりアクアビクスを週 1 回、障がい者水泳教室を月 1 回増やし、お客様へのサービスに努めました。 ○自主事業の教室事業は全 29 教室 445 回実施し、参加者は 4,006 人となりました。1 教室の平均参加者は約 9 人となります。	【収支状況について】 ○収入に関して 使用料収入は計画通りとなりました。自主事業の収入は計画を上回っております。 ○支出に関して 人件費、光熱水道費を重点項目に置き、支出減に取り組んで来ました結果電気料金の値上がりがあったものの支出はほぼ計画の範囲内に収めることができました。
--	---	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 個人利用者を団体に導き、団体育成に力を入れて行ってください。	【事業の実施状況について】 今後も水泳教室やアクアビクスによる市民サービスに努めてください。	【収支状況について】 積極的な節電効果がみられます。今後も努力してください。
--	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）			確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適性・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	9人	人員配置計画、実地、出勤簿	9人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年	研修マニュアル	実施回数2回 適正・要改善	適正・要改善
	障害者の雇用促進に努めている	5%	人員配置計画	0% 適正・要改善	適正・要改善
	高齢者の雇用促進に努めている	10%	人員配置計画	5% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記 1、2 の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
個人利用者数は 23 年度上半期 42,298 人に対し 24 年度は、45,616 人と 107.8%の増加となりました。また、自主事業教室の参加者も前年比 110%の増加となっております。要因として定期的な広告の実施、お客様サービスの向上等があげられます。改善点としては、団体利用人数が、低下している点があげられます。前年より 5%マイナスとなっております、今後いかに団体の利用者数を増加させるかが課題となっております。 支出面では利用者の方にご協力頂き節電営業を実施致しております。電気料金の値上がりの関係で前年より電気料金はアップしておりますが、水道料金、灯油料金は前年より削減出来ております。 その他経費も削減努力を行い、計画の範囲内に収まっております。 お客様の安全面にも十分な配慮を実施しており、事故は発生しておりません。 下半期も上半期同様、お客様が安全で快適に利用できる様、健全な運営を実施していきたいと考えております。
所管課による所見（指摘事項など）
市民のニーズに応え、多くの自主事業を行い、参加者が増加してきています。今後も新しい取組を行い集客に力を入れてください。節電、節水などの努力もあり、削減効果が現れています。お客様の安全を第一に適切な室温、水温を保ち、今後も努力をお願いします。人員配置については障がい者や高齢者の雇用促進に今後も努めてください。